



ゆらがわ

舞鶴市立由良川小学校

学校だより 6月号

〒624-0955 舞鶴市字丸田74番地

令和3年5月31日発行

四つ葉のクローバーは傷から生まれる！



～辛いことを乗り越えた先に幸せは待っている～

生活の中でも、辛いことを乗り越えたところに幸せが待っていることはよくあります。皆さんは「四つ葉のクローバー」を知っていますよね。クローバーの葉は普通3枚ですが、ときどき4枚のクローバーが見つかりますね。とても珍しいので、見つかるとうれしい気持ちになります。四つ葉のクローバーはラッキーアイテムです。

ところで、なかなか見つからない四つ葉のクローバーが、他の場所よりも見つけやすい場所があるそうです。それは、人がたくさん通ったり車が通ったりして、クローバーが踏まれたり折られたりしやすい場所だそうです。

どうしてそういう場所で四つ葉のクローバーがたくさん見つかるのでしょうか？

クローバーの葉は、小さい赤ちゃんの葉がだんだん大きくなってできるそうですが、小さい赤ちゃんのうちに踏まれたり傷つけられたりすると、2つに分かれてしまうことがあるのだそうです。そうすると、クローバーはその傷を治そうとして、たくさんの栄養を出します。そのたくさんの栄養で、踏まれて2つに分かれてしまった赤ちゃんの葉が、それぞれ大きな葉に育つのです。こうして四つ葉のクローバーになります。

ラッキーアイテムの四つ葉のクローバーの元は、誰かに踏まれてできた傷だったのですね。その傷を治そうとする力で四つ葉のクローバーができるのです。 (参考資料：「疑問氷解 四つ葉のクローバーはどうしてできるの?」)

皆さんが、友達とけんかをして落ち込んでいたり、お父さんお母さんや先生に叱られて元気をなくしたり、気になることを言われて悩んだりすることは、クローバーの赤ちゃんが誰かに踏まれて傷ついたのと同じだと考えてみてはどうでしょうか？

傷ついたクローバーが、その傷を治そうとする力で四つ葉のクローバーをつくるように、皆さんが今、落ち込んだり、元気をなくしたり、悩んだりしていることを乗り越えていくと、その先には新しい幸せが待っているのではないかと思います。

保護者・地域の皆様。先の見えない新型コロナウイルス感染症による閉塞感を強く感じてしまいますが、この厳しい状況乗り越えれば、きっとその先には素晴らしい幸せが待っていると信じて進んでいきたいと思えます。

1学期も折り返しの時期になり、子どもたちにも疲れや中だるみが見られる頃です。気候も梅雨となり蒸し暑くなってきて気分や体調を崩しやすくなりますが、カタツムリのようにスピードは遅くてもじっくりと進んでいく気持ちを大切にできることに地道に取り組めるよう指導していきたいと思えますので、家庭・地域でも励ましの声掛けをいただきますようよろしくお願いいたします。



こうした中でも周りの自然の様子は例年通りです。休みの日には自然の中に足を伸ばして歩く機会が多いのですが、海や川沿い、さらには山の木々を見ながら鳥のさえずりや水の流れといった自然の音に耳を傾けると、心もゆったりとさわやかな気持ちになります。

皆様もぜひ、身近な自然に目をや耳を傾ける時間をとってみてください。

校長 中江浩二 教職員一同